

研究課題名

食物アレルギー（Food Allergy : FA）問診票の改訂による FA 対応給食業務改善の検討
（国保中央病院 倫理審査委員会 承認番号（2026/001））

研究体制

研究責任者：畿央大学 健康科学部 健康栄養学科 助手 小池 和紀

研究分担者：

所属・職：国保中央病院 小児科 小児主任部長 氏名：中農 昌子

所属・職：国保中央病院 栄養科 氏名：谷迫 由希

所属・職：国保中央病院 栄養科 氏名：西内 美和

所属・職：国保中央病院 栄養科 氏名：松村 智子

所属・職：栄養支援センター FLC 氏名：植田 紀秀

研究期間と対象となる方

2022年4月～6月、2024年4月～6月に当院小児科へ入院された方を対象としています。

研究の意義および目的

病院勤務管理栄養士には入院患者の給食管理と栄養管理など多くの業務があり、業務効率化は重要な課題とされています。

当院小児科ではアレルギー疾患で通院する患者さんが多いため、入院患者さんの給食管理では慎重なアレルギー対応が必要です。当院小児科で入院する場合、入院することが決まってから食事提供までにアレルギー食物と未摂取食物の両方に関して、保護者に食物アレルギー問診票をご記入いただいております。摂取不可能な食物を認識するために問診票は重要な情報源です。

我々は2022年に食物アレルギー問診票の大規模改訂を実施しました。本研究は、この改訂が管理栄養士の業務効率化をもたらしたか評価することを目的としています。本研究の結果は、病院給食における適切かつ安全な食物アレルギー対応の確立への科学的根拠となりえます。また給食業務の効率化により、管理栄養士の労力を他業務に注ぐことができます。研究結果を学会や論文で公開することは、他施設の給食業務改善にも繋がる可能性があります。

研究実施機関

国保中央病院

畿央大学 健康科学部 健康栄養学科

研究方法

本研究は、後ろ向き観察研究です。

2022年4月～6月、2024年4月～6月に当院小児科へ入院された方の問診表を解析し、対応を要したアレルギー食物項目、未摂取食物項目、アレルギー対応を要した患者数、インシデント件数を改訂前後で比較します。

この改訂が管理栄養士の業務効率化に影響したかを検討します。

倫理的配慮、個人情報の取り扱いについて

本研究は、既存データのみを利用し研究です。そのため、研究に際し新たな介入や侵襲が追加されることはありません。また、カルテから取得した要配慮個人情報などのデータは匿名化することで個人が特定されることはございません。

本研究への参加を希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。その場合、情報を使用いたしません。なお、参加を拒否された場合でも今後、不利益になることは一切ございません。つきましては、研究の主旨をご理解頂き、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

情報公開

本研究の結果は、個人が特定されないよう十分に配慮した上で解析・集計を行い、国内外の学会あるいは雑誌への投稿等により公表する予定です。

本研究に関する連絡先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

国保中央病院 小児科

中農 昌子

TEL: 0744-32-8800

研究責任者

畿央大学 健康科学部 健康栄養学科 小池 和紀